



## 認定書

国住指第2976号  
平成 18年 3月 27日

株式会社デコス  
代表取締役 安成 信次 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第2条第八号並びに同法施行令第108条第一号及び第二号(外壁(耐力壁):各30分間)の規定に適合するものであることを認める。

### 記

1. 認定番号

PC030BE-0728

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

セルローズファイバー充てん/木繊維混入セメントけい酸カルシウム板・構造用合板表張/せっこうボード裏張/木製枠組造外壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：  
セルローズファイバー充てん／木繊維混入セメントけい酸カルシウム板・構造用合板表張／  
せっこうボード裏張／木製枠組造外壁
2. 申請仕様の寸法：  
申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項 目	申 請 仕 様
壁高さ	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法
壁厚さ	131.5mm以上
たて枠間隔	500mm以下

3. 申請仕様の主構成材料：  
申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項目	申請仕様
たて枠 (荷重支持部材)	材料：平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁のたて枠材 寸法：38mm×89mm以上
上枠・下枠	材料：平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁の上枠及び下枠材 寸法：38mm×89mm以上
外装材	材料：窯業系サイディング（JIS A 5422） （以下「サイディング」という） ①、②又は③ 組成： ①木繊維補強セメント板 （JISの難燃2級以上） A) 木繊維混入セメント・けい酸カルシウム板 けい酸カルシウム化合物 70～80 質量％ 有機質繊維 10～15 質量％ 無機質繊維 0～5 質量％ 有機質混和材 0～3 質量％ 無機質混和材 10～15 質量％ B) 硬質木片セメント板 セメント質原料 73～78 質量％ 木片 22～27 質量％ ②繊維補強セメント板 （JISの難燃1級） セメント質原料 65～85 質量％ 有機質繊維 2～8 質量％ 無機質繊維 0～6 質量％ 有機質混和材 0～3 質量％ 無機質混和材 7～30 質量％ ③繊維補強セメント・けい酸カルシウム板 （JISの難燃1級） けい酸カルシウム化合物 65～96 質量％ 有機質繊維 0～5 質量％ 無機質繊維 0～4 質量％ 有機質混和材 0～3 質量％ 無機質混和材 0～30 質量％ 但し、 ・繊維質原料 有機質：木繊維、パルプ、ポリビニルアルコール、 ポリアクリル等 無機質：ガラス繊維、ロックウール、マイカ、セラミック繊維等 ・混和材 有機質：木粉、メチルメタクリレート、撥水剤等 無機質：パーライト、炭酸カルシウム、タルク、シスパーロン等

## つづき

外装材	<p>表面塗料： 種類：①～⑥の一 ①アクリル樹脂系塗料      ②アクリル樹脂系塗料 ③アクリルシリコン樹脂系塗料      ④ふっ素樹脂系塗料 ⑤エポキシ樹脂系塗料      ⑥ポリウレタン樹脂系塗料 塗布量：200g/m<sup>2</sup>以下（有機固形分）</p> <p>密度：1.1±0.2Mg/m<sup>3</sup></p> <p>形状： 1)外形寸法 厚さ：12mm～25mm ・厚さ：12mm～14mmの場合 幅：最小400mm～最大1210mm 長さ：最小1820mm～最大3640mm ・厚さ：15mm～25mmの場合 幅：最小303mm～最大910mm 長さ：最小910mm～最大3640mm 2)端部形状（サイディング相互の重なりと隙間） 重なり：6mm以上 隙間：3mm以下 3)断面形状 厚さ：12mm～25mm ・厚さ：12mm～14mmの場合 最小板厚(中実部)：8mm以上 模様深さ：容積欠損率：8%以下 (但し、板厚12mmを超える場合は裏面から12mmの位置での欠損率とする) ・厚さ：15mm～25mmの場合 最小板厚(中実部)：11mm以上 模様深さ：容積欠損率：11%以下 (但し、板厚15mmを超える場合は裏面から15mmの位置での欠損率とする) ・中空率：37%以下 (但し、板厚15mmを超える場合は厚さを増した分だけ中空部高さを増すことができ、中空率を上げることができる)</p> <p>張り方：①、②又は③ ①横張      ②縦張      ③重張</p>
構造用面材	<p>材料：①～⑨の一</p> <p>①構造用合板（日本農林規格に適合するもの）厚さ：9mm以上 ②構造用パネル（日本農林規格に適合するもの）厚さ：9mm以上 ③パーティクルボード（JIS A 5908）厚さ：9mm以上 ④シーリングボード（JIS A 5905）厚さ：9mm以上 ⑤ミディアムデンシティファイバーボード（JIS A 5905）厚さ：9mm以上 ⑥火山性ガラス質複層板（JIS A 5440）厚さ：9mm以上 ⑦けい酸カルシウム板（JIS A 5430） 見掛け密度 0.6g/cm<sup>3</sup>以上      厚さ：10mm以上 ⑧硬質木片セメント板（JIS A 5404）厚さ：12mm以上 ⑨せっこうボード（JIS A 6901）厚さ：12.5mm以上</p>
内装材	<p>材料：せっこうボード（JIS A 6901） 厚さ：9.5mm以上</p>
断熱材	<p>材料：セルローズファイバー（JIS A 9523） 厚さ：89mm以上 密度：55±5kg/m<sup>3</sup>以上</p>

4. 申請仕様の副構成材料：

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様
胴縁	材料：日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は下地用製材 寸法：12mm×40mm以上、外装材目地部 12mm×80mm以上 取付間隔：500mm以下
防水シート	材料：透湿防水シート（JIS A 6111） 材質：1)、2)又は3) 1)ポリエチレン 2)ポリエステル 3)ポリプロピレン 厚さ：0.2mm以下
気密シート	材料：①～④の一 ①ポリエステル長繊維不織布 ②住宅用プラスチック系防湿フィルム（JIS A 6930） ③包装用ポリエチレンフィルム（JIS Z 1702） ④農業用ポリエチレンフィルム（JIS K 6781） 厚さ：0.2mm以下
目地部材	材料：①～⑤の一 ①シーリング材（JIS A 5758） 材質：1)～6)の一 1)ポリウレタン系樹脂 2)アクリルウレタン系樹脂 3)ポリサルファイト系樹脂 4)変成ポリサルファイト系樹脂 5)シリコン系樹脂 6)変成シリコン系樹脂 使用量：56g/m以上 ②ハット形ジョイナーとシーリング材（①仕様）の併用 ジョイナー： 材質：1)～11)の一 1)熔融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302） 2)塗装熔融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3312） 3)熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板（JIS G 3317） 4)塗装熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板（JIS G 3318） 5)熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板（JIS G 3321） 6)塗装熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板（JIS G 3322） 7)ポリ塩化ビニル被覆金属板（JIS K 6744） 8)熱間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4304） 9)冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305） 10)塩化ビニル（但し、①シーリング材56g/m以上充てん） 11)ポリプロピレン（但し、①シーリング材56g/m以上充てん） 厚さ 1)～9)：0.25mm以上 厚さ 10)～11)：0.3mm以上 ③バックアップ材とシーリング材（①仕様）の併用 （但しサイディング厚さが15mm以上の場合） 材質：1)又は2) 1)発泡ポリエチレン 2)発泡ポリスチレン 幅：8mm～12mm 厚さ：3mm～30mm ④金属ジョイナー（材質：②1)～9)仕様） 形状：ハット形、H形等 厚さ：0.25mm以上 ⑤なし 合いじゃくり目地、突付け目地又は重なり目地の場合

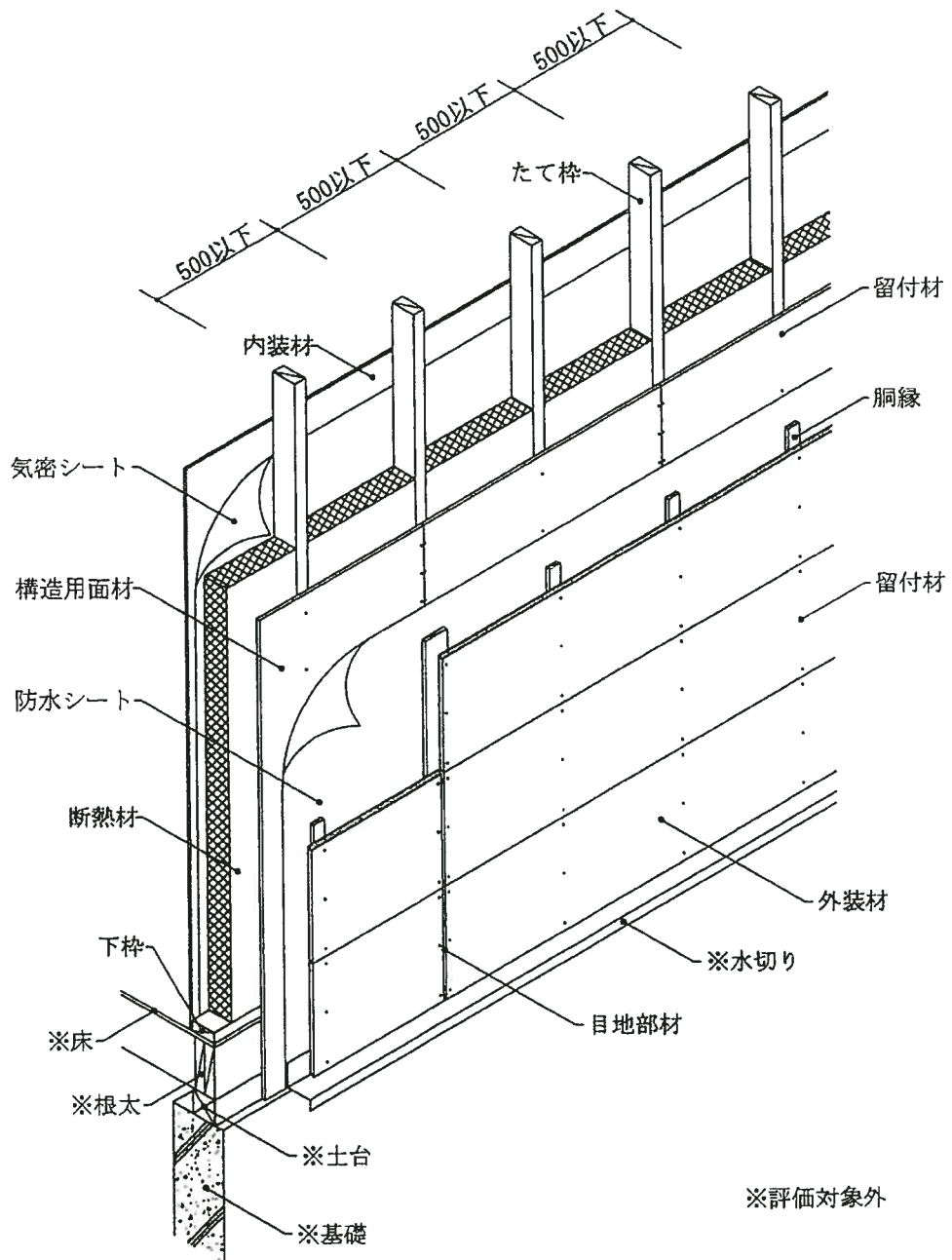
## つづき

留付材	<p>外装材固定用： 材料：①、②又は③ ①スクリューくぎ（JIS A 5508）：胴径φ2.2mm×長さ38mm以上 ②リングくぎ（JIS A 5508）：胴径φ2.2mm×長さ38mm以上 ③タッピンねじ（JIS B 1122）：呼び径φ3.0mm×長さ30mm以上 留付間隔：303mm以下</p>
	<p>構造用面材固定用： 材料：①、②又は③ ①構造用合板、構造用パネル、パーティクルボード、ミディアムデンシティファイバーボード、火山性ガラス質複層板又は硬質木片セメント板を使用する場合 留付材：1)又は2) 1) 細め鉄丸くぎ（JIS A 5508）：BN50以上 2) 太め鉄丸くぎ（JIS A 5508）：CN50以上 留付間隔：周辺部 100mm以下、中間部 200mm以下 ②けい酸カルシウム板又はせっこうボードを使用する場合 留付材：1)又は2) 1) せっこうボード用くぎ（JIS A 5508）：GN40以上 2) ステンレス鋼くぎ（JIS A 5508）：SFN45以上 留付間隔：周辺部 150mm以下、中間部 300mm以下 ③シーリングボードを使用する場合 留付材：シーリングインシュレーションファイバーボード用くぎ（JIS A 5508）：SN40以上 留付間隔：周辺部 100mm以下、中間部 200mm以下</p>
	<p>胴縁固定用： 材料：鉄丸くぎ（JIS A 5508）：N45以上 留付間隔：500mm以下</p>
	<p>内装材固定用： 材料：①、②又は③ ①せっこうボード用くぎ（JIS A 5508）：GN40以上 ②十字穴付き木ねじ（JIS B 1112）：胴径φ2.7mm×長さ28mm以上 ③タッピンねじ（JIS B 1122）：胴径φ4.0mm×長さ25mm以上 留付間隔：周辺部 150mm以下、中間部 200mm以下</p>
	<p>防水シート・気密シート固定用： 材料：工業用ステップル（JIS A 5556） 材質：1)又は2) 1) ステンレス鋼線（JIS G 4309） 2) 鉄線（JIS G 3532） 寸法：幅9.6mm以上、足長10mm以上 留付間隔：防水シート 500mm以下、気密シート 50mm以下</p>
	パテ

## 5. 申請仕様の構造説明図：

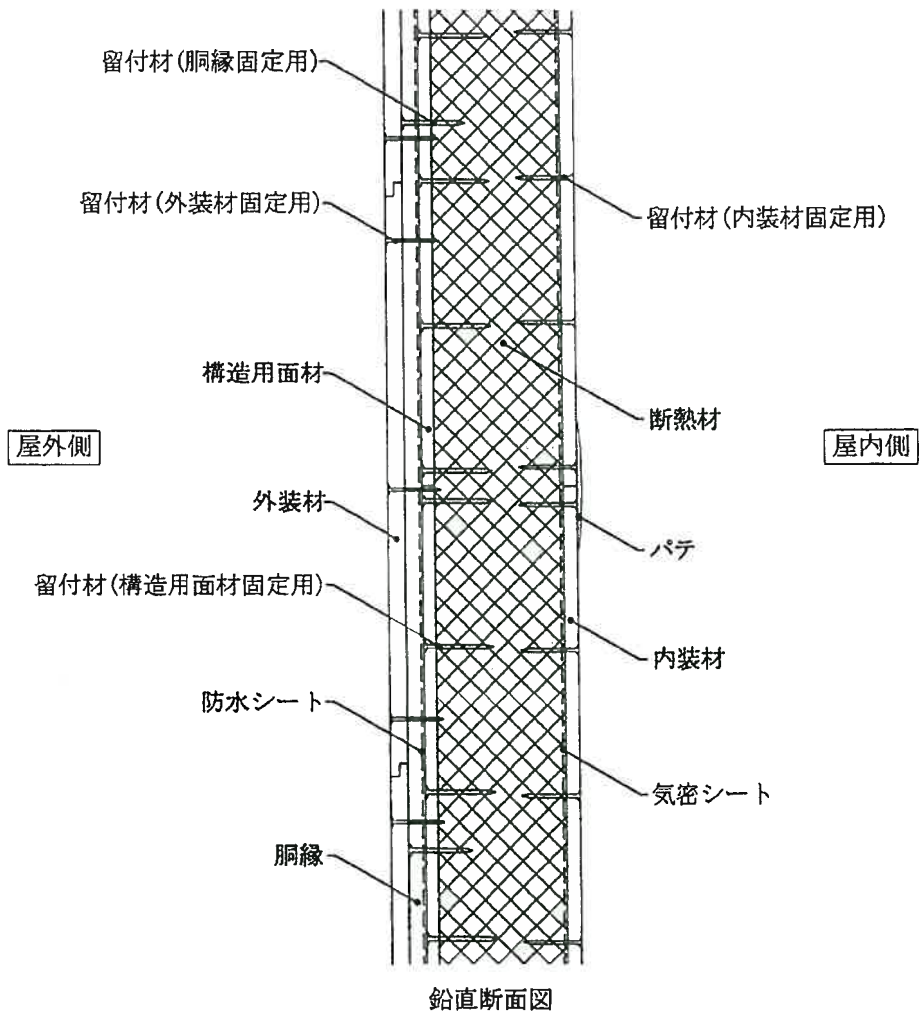
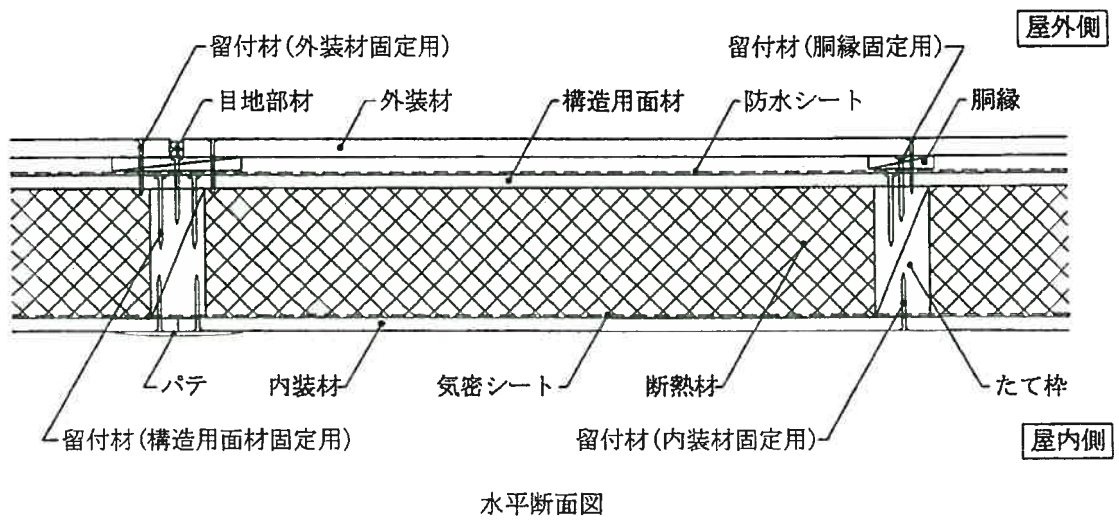
申請仕様の構造説明図を図1～図8に示す。

単位 mm



透視図 (外装材張り方 : 横張仕様)

図1 構造説明図

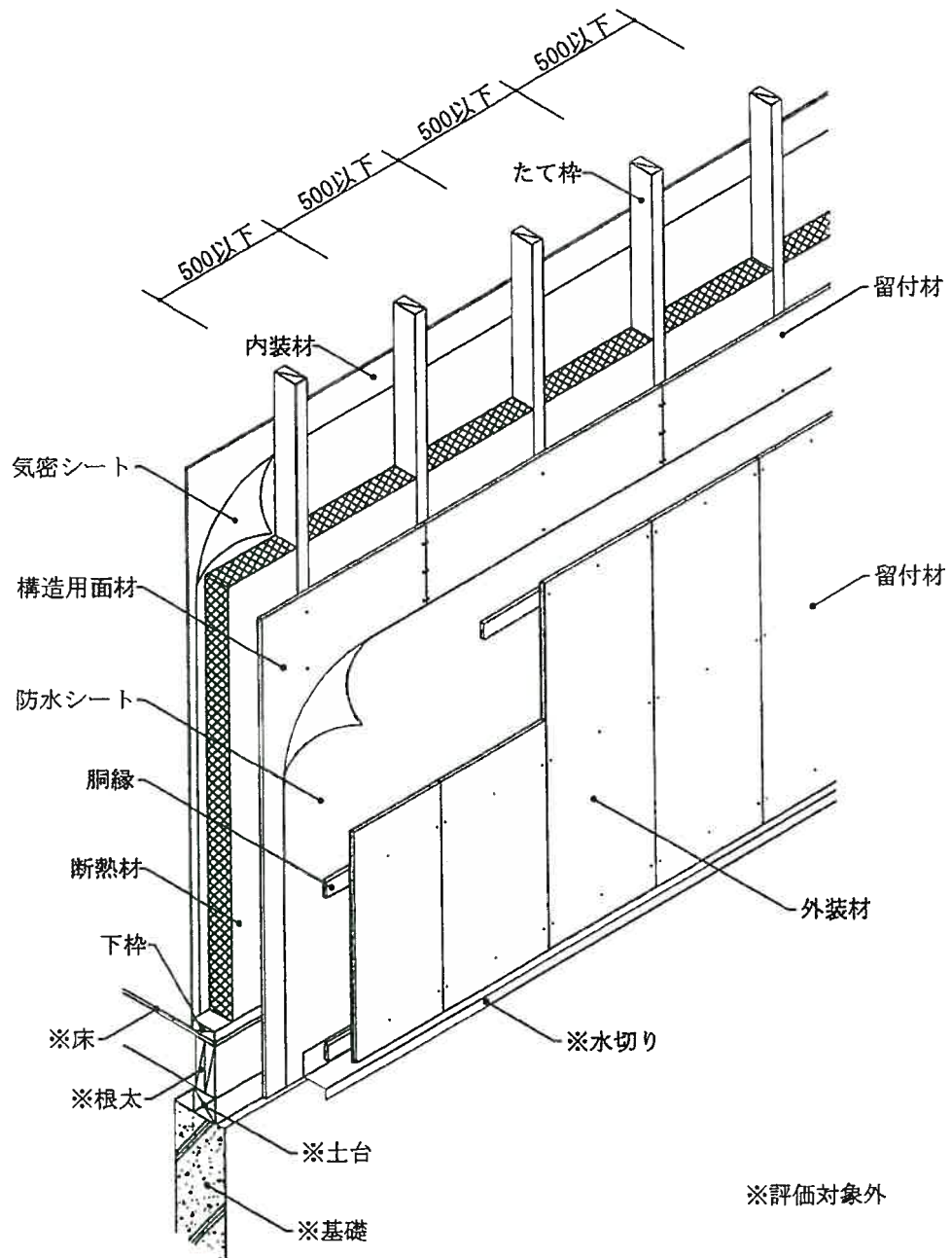


断面図 (外装材張り方 : 横張仕様)

図2 構造説明図

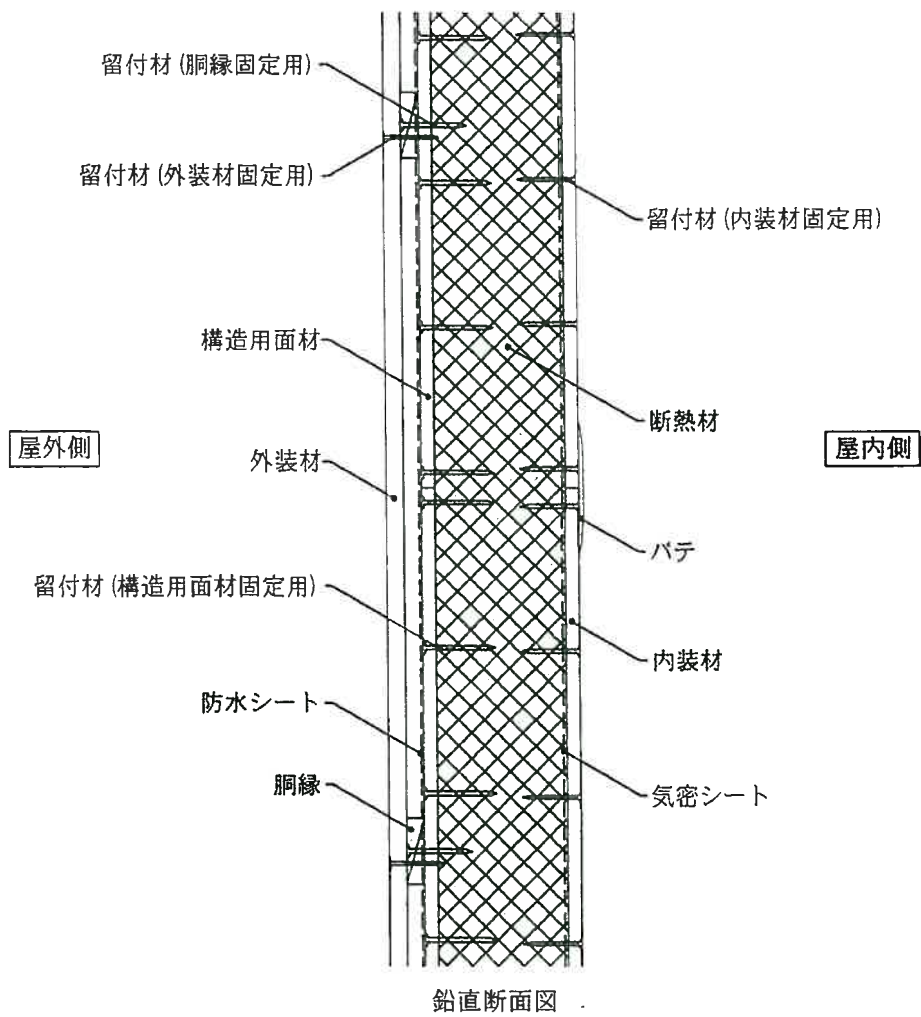
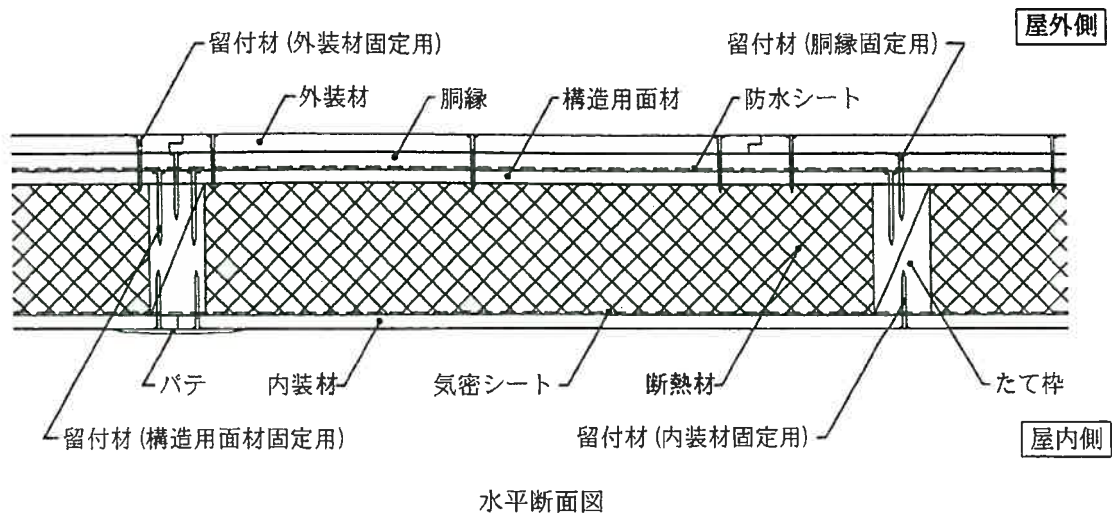


単位 mm



透視図 (外装材張り方 : 縦張仕様)

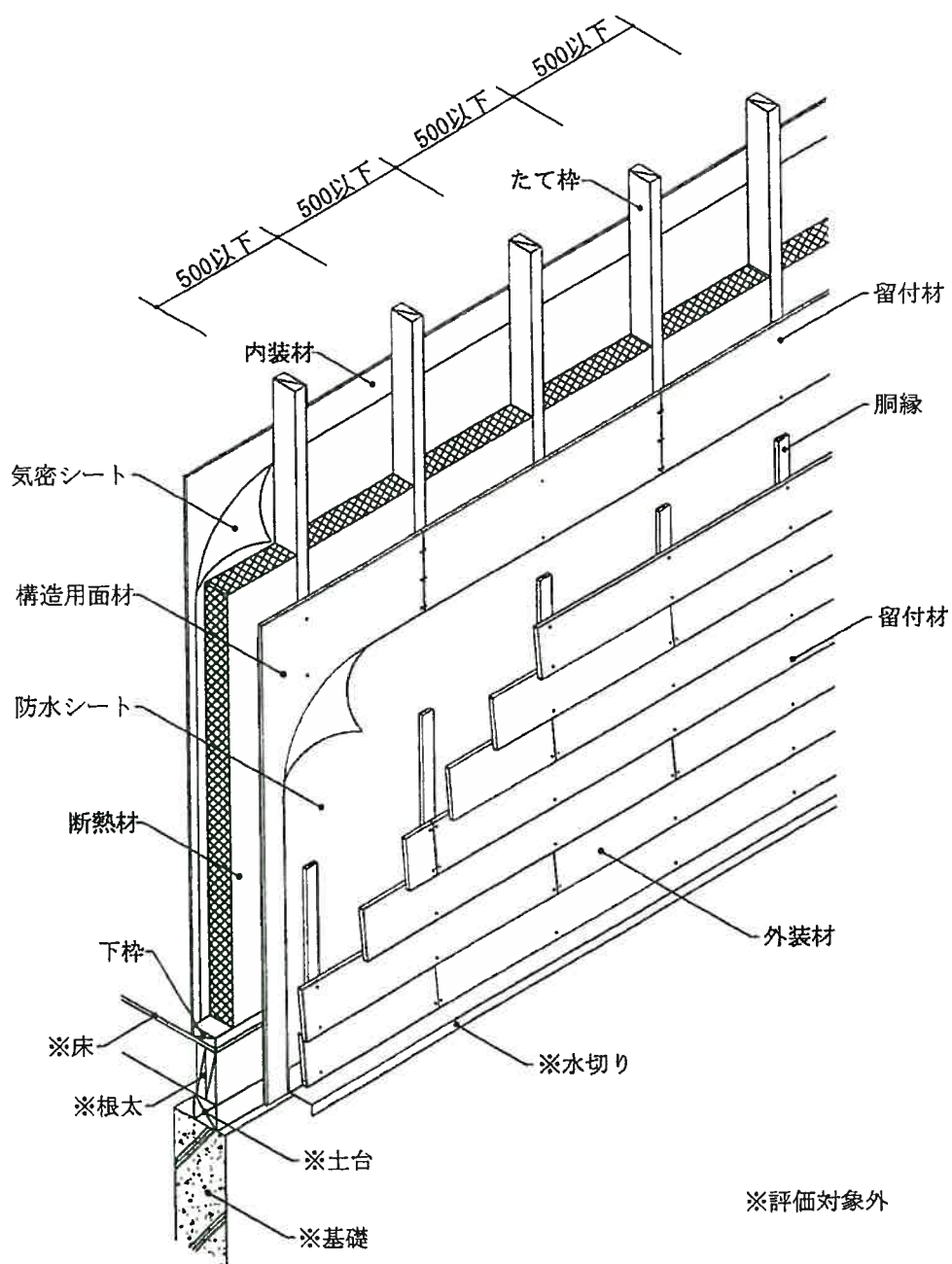
図3 構造説明図



断面図 (外装材張り方 : 縦張仕様)

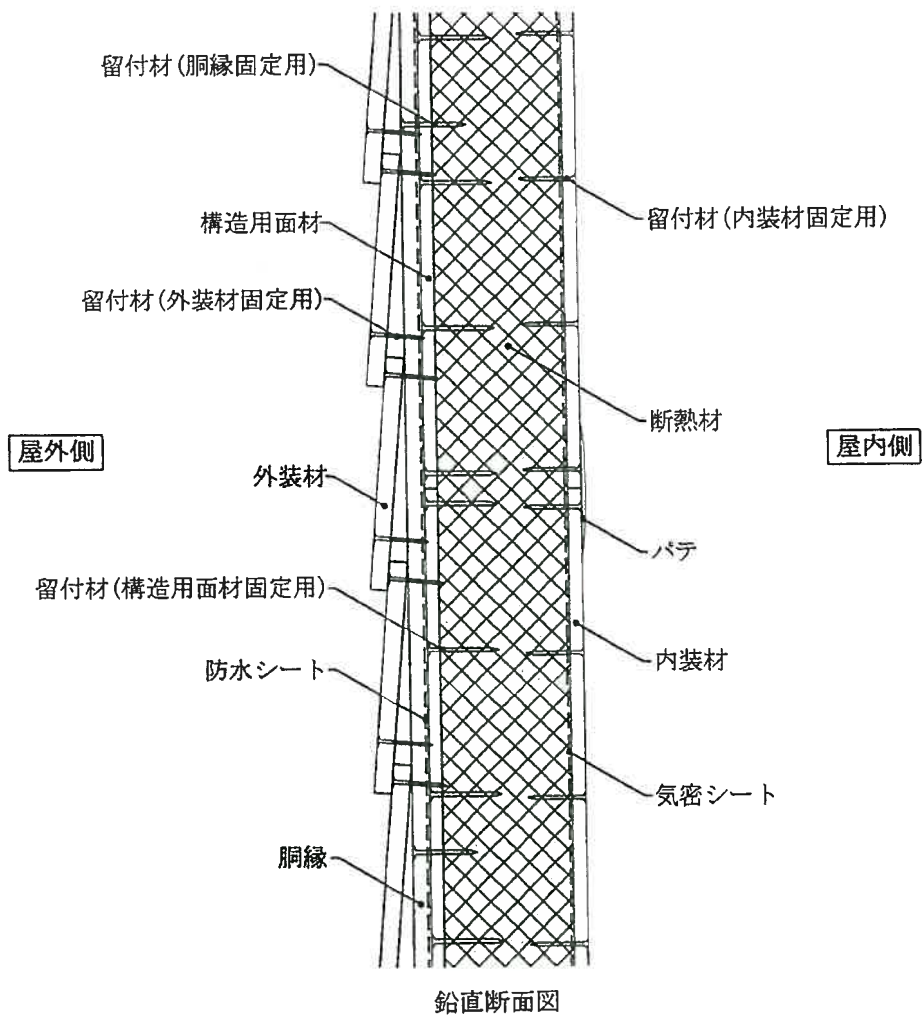
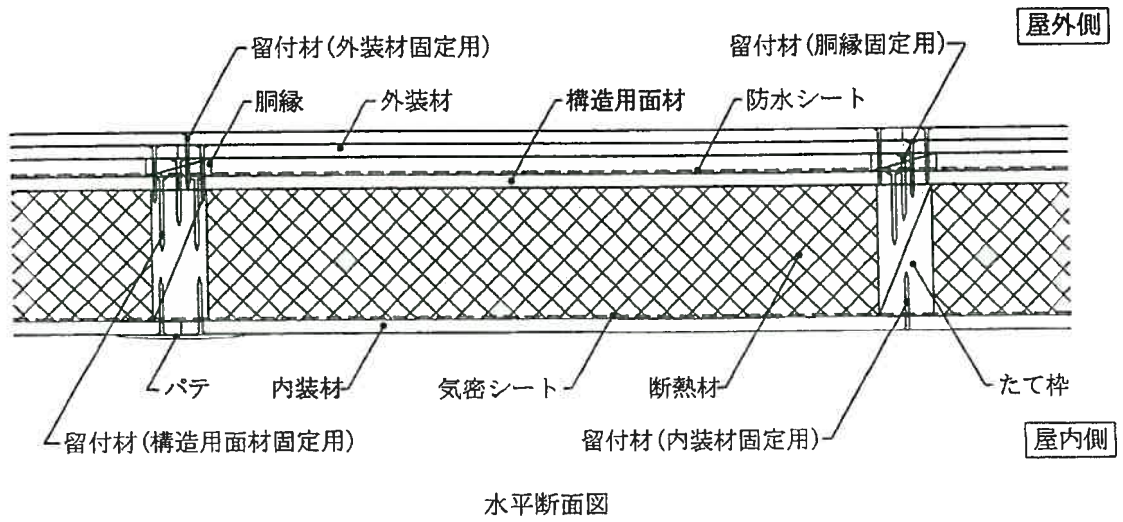
図4 構造説明図

単位 mm



透視図 (外装材張り方 : 重張仕様)

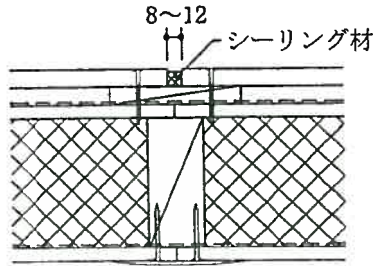
図5 構造説明図



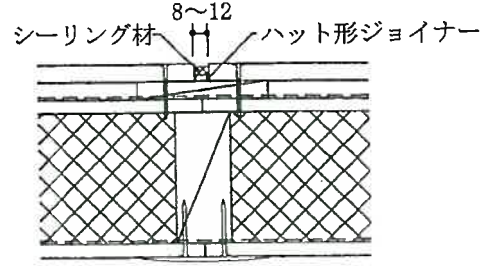
断面図 (外装材張り方 : 重張仕様)

図6 構造説明図

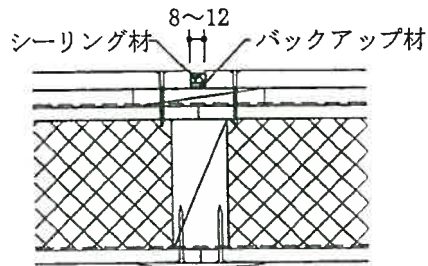
①シーリング材目地



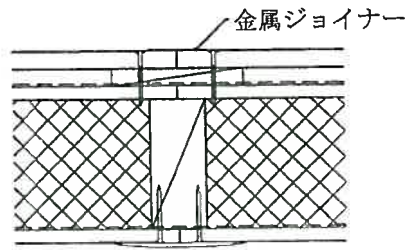
②ハット形ジョイナーとシーリング材の併用目地



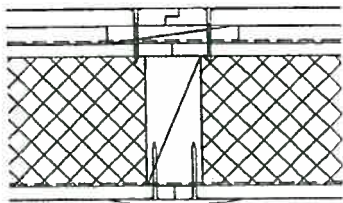
③バックアップ材とシーリング材の併用目地



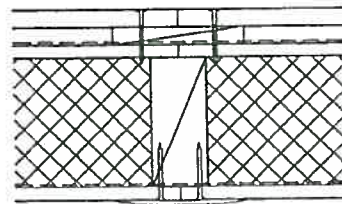
④金属ジョイナー目地



⑤合いじゃくり目地



⑥突付け目地



⑦重なり目地

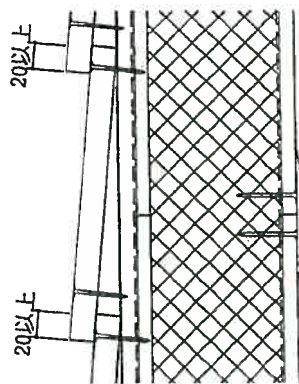
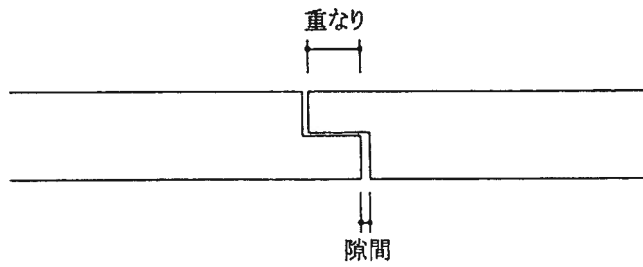


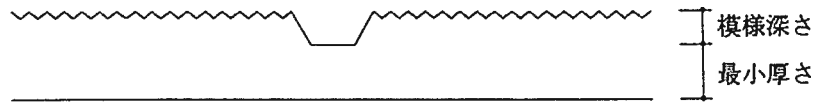
図7 構造説明図

外装材の形状

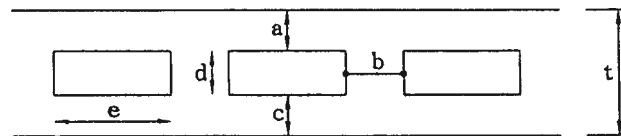
①端部形状



②断面形状



③中空品形状



厚さ	t	15 mm以上
	a	3 mm以上
	b	3 mm以上
	c	3 mm以上
	d	9 mm以下
	e	t mm以下

図8 構造説明図



## 6. 施工方法：

施工図を図9～図11に示す。  
施工は以下の手順で行う。

### (1) 下地の組立

- ・たて枠は、反り曲がりのないものを使用し、下枠の表面に垂直に500mm以下の間隔で取付ける。

### (2) 構造用面材の取付

- ・構造用面材を、構造用面材固定用留付材を用いてたて枠、上枠及び下枠に取付ける。

### (3) 防水シートの張付

- ・防水シートは横張又は縦張とし、重ね代は縦90mm以上、横150mm以上とする。
- ・留付は幅9.6mm以上、足長10mm以上の工業用ステーブルで構造用面材に留付ける。
- ・張付はできるだけたるみ、しわのないようにする。

### (4) 胴縁の取付

- ・たて枠に500mm以下の間隔で胴縁固定用留付材で取付ける。
- ・胴縁寸法で不陸のないように調整する。
- ・外装材を横張又は重張する場合は胴縁がたて枠材と通りが同じ方向になるように縦方向に配置する。
- ・外装材を縦張する場合は胴縁がたて枠材と直交するように横方向に配置する。

### (5) 外装材(サイディング)の取付

- ・サイディングの張り方仕様は、縦張、横張又は重張仕様とする。
- ・サイディングの留付は、くぎ又はタッピンねじ留めとする。
- ・端部留付位置は板端部より20mm以上中に入った位置で、サイディングの種類に合わせた留付材を用いて所定の位置に留付ける。
- ・留付けは303mm以下間隔で板幅に応じて留付ける。
- ・取付は、目地通りよく、不陸、目違い等のないよう行う。
- ・サイディングの目地処理は以下の方法で行う。

#### ①シーリング目地

- ・目地部には、胴縁を設けること。
- ・目地幅は8～12mmになるように、サイディングをくぎ又はタッピンねじで留付ける。その溝口にシーリング材を隙間が生じないように56g/m以上充てんする。

#### ②ハット形ジョイナーとシーリング材の併用目地

- ・目地部には、胴縁を設けること。
- ・目地幅は8～12mmになるように、サイディングをくぎ又はタッピンねじで留付ける。ハット形ジョイナーを用いて、その上にシーリング材を隙間が生じないように充てんする。
- ・シーリング材は56g/m以上充てんする。

#### ③バックアップ材とシーリング材の併用目地

- ・目地部には、胴縁を設けること。
- ・目地幅は8～12mmになるように、サイディングをくぎ又はタッピンねじで留付ける。バックアップ材を用いて、その上にシーリング材を隙間が生じないように充てんする。
- ・シーリング材は56g/m以上充てんする。

#### ④金属ジョイナー目地

- ・目地部には、胴縁を設けること。
- ・H形ジョイナーはサイディングをはめ込み、サイディングを留付けて押さえる。

#### ⑤合いじゃくり目地

- ・目地部には、胴縁を設けること。
- ・サイディングの重ね代及び隙間は指定寸法を確保し、上実・下実のいずれかの端部は相互に密着させるように張付ける。

#### ⑥突付け目地

- ・目地部には、胴縁を設けること。
- ・目地部においてサイディングは隙間が生じないように、くぎ又はタッピンねじで留付ける。

⑦重なり目地(重張工法の場合)

- ・サイディング相互の重ね代は20mm以上とする。

(6) 気密シートの張付

- ・気密シートの張付位置は裏張(屋内側)とする。
- ・気密シートは横張又は縦張とし、上下・左右の重ね代を100mm以上とする。
- ・枠材への留付けは内幅9.6mm以上、足長10mm以上の工業用ステーブルで張付ける。
- ・張付けはできるだけたるみ、しわのないようにする。

(7) 断熱材の充てん

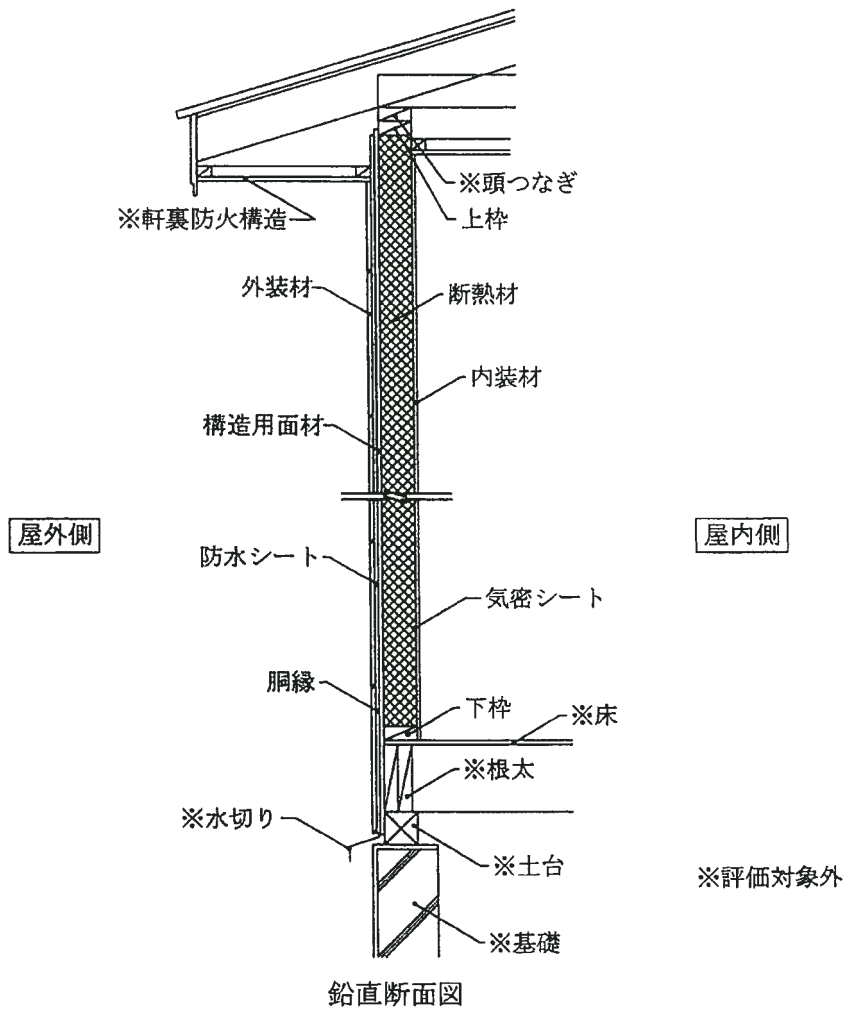
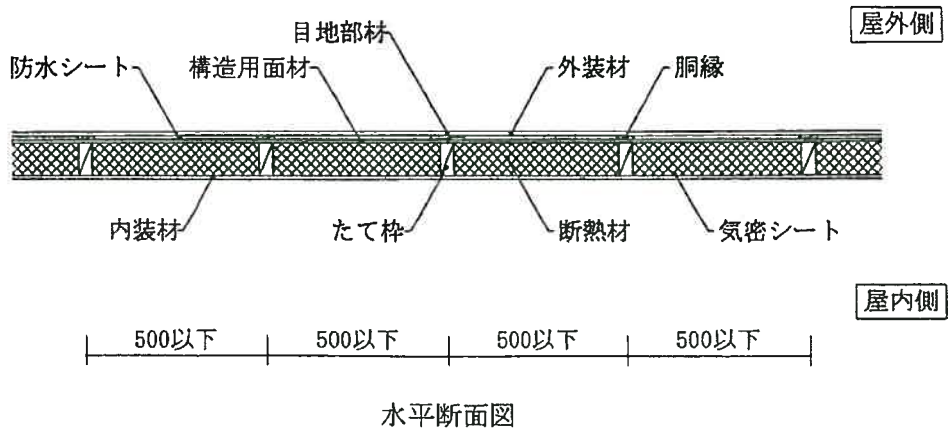
- ・専用の施工機で、壁枠内に隙間なく吹き込む。

(8) 内装材の取付

- ・せっこうボードは、内装材固定用留付材を用いてたて枠、上枠又は下枠に取付ける。
- ・目地部にはパテを施し、平滑に仕上げる。



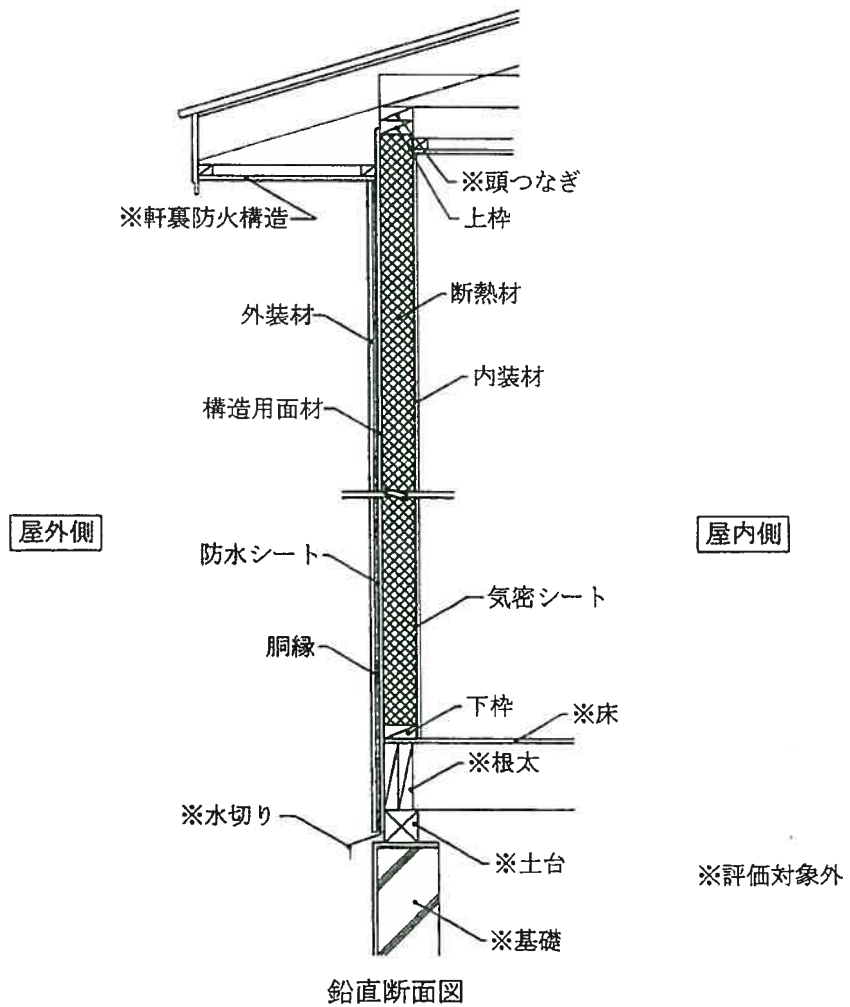
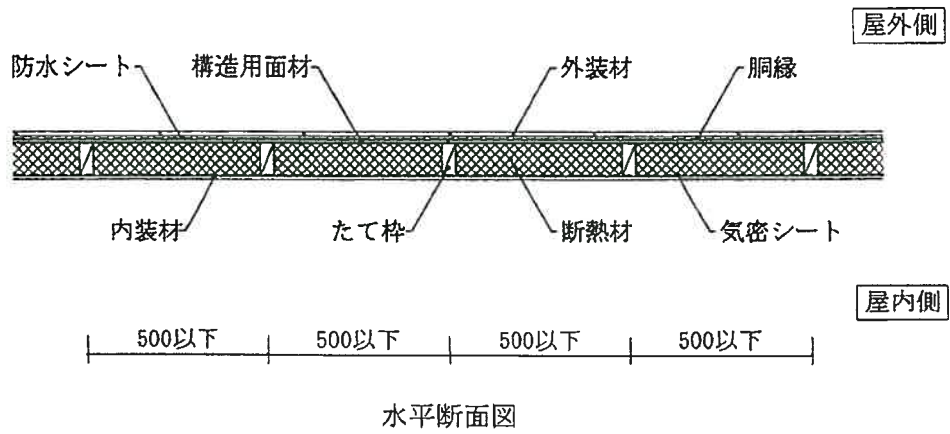
単位 mm



断面図 (外装材張り方 : 横張仕様)

図9 施工図

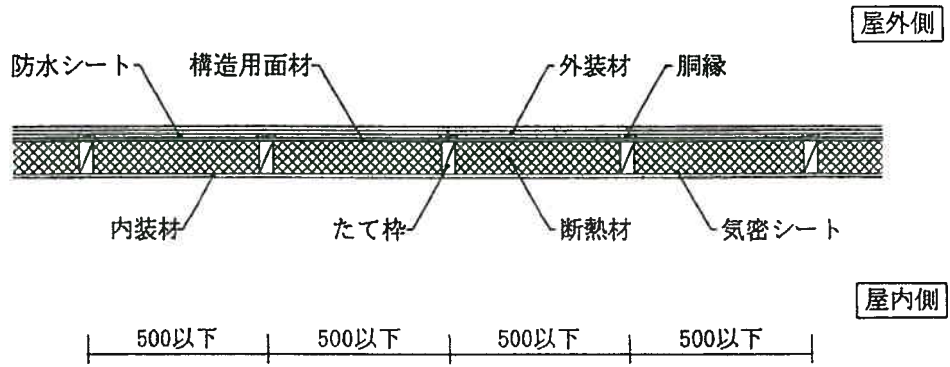
単位 mm



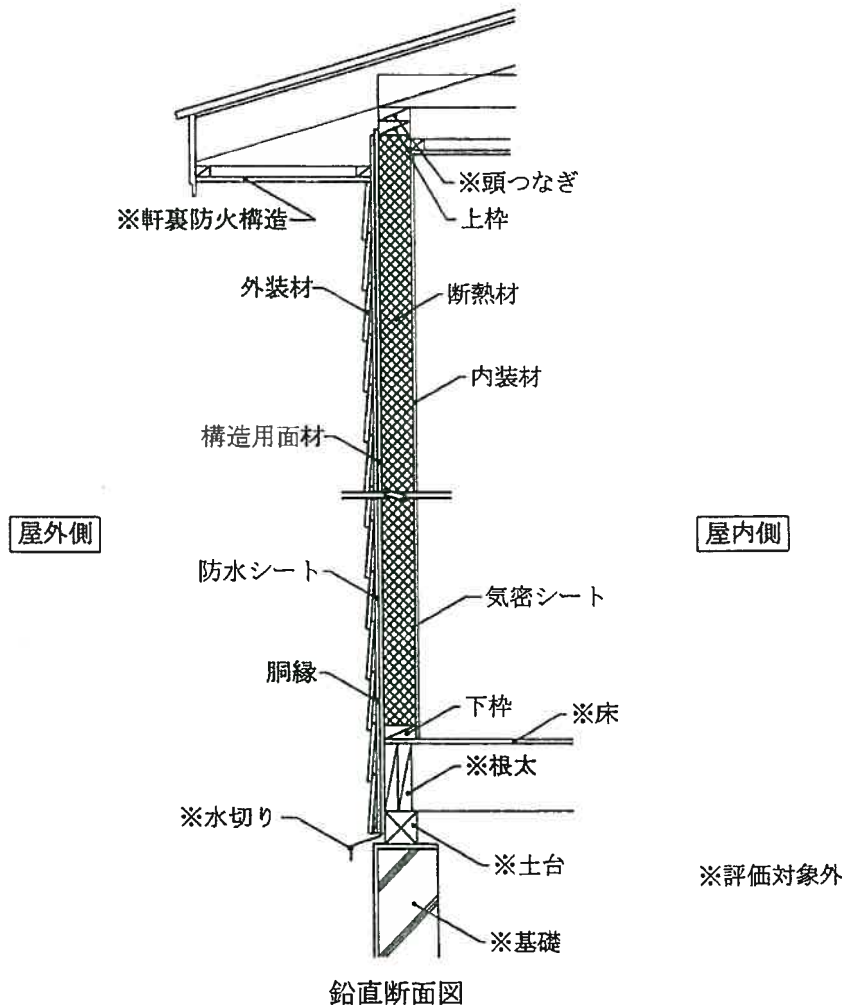
断面図 (外装材張り方 : 縦張仕様)

図 10 施工図

単位 mm



水平断面図



断面図 (外装材張り方 : 重張仕様)

図 1 1 施工図